

2023年度



# 歯科衛生士 書き込み式 学習ノート

## ① 専門基礎科目編

医歯薬出版 編

I 編

人体の構造と機能

解剖学・組織発生学・生理学／栄養と代謝

II 編

歯・口腔の構造と機能

口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学

III 編

疾病の成り立ち及び回復過程の促進

病理学／微生物学／薬理学

医歯薬出版株式会社

## 学習ノートの特長と効果的な使い方

### 特長

- 「歯科衛生学シリーズ」に準拠し、要点をまとめ、重要ワードを自分で書き込んでいく学習ノート。
- 自分で書き込むことによって、教科書の理解が深まる。
- 科目別になっているので、持ち運びしやすく、分類・整理しやすい。
- 講義で配布されたプリント類と一緒に綴じておける。
- 自分で書き込む重要ワードの解答は巻末にまとめてあり、取り外しが可能。
- 各所に「歯科衛生学シリーズ」の参照ページが明示されている。

### 効果的な使い方

- 日常の講義の予習・復習に使ってみましょう。
- 空欄に重要ワードを書き込むだけでなく、講義で気がついたポイントなどを書き込んだり、マーカーで色をつけてみましょう。
- 校内テストの前に学習ノートで復習しましょう。
- 国家試験対策でも活用しましょう。

## 自分だけのオリジナルのノートを作ってみましょう！

\* 2023年発行の「歯科衛生学シリーズ」、その他テキストに準じています。

\* 切り取る際には、ミシン目から1枚ずつ丁寧に切り取って下さい。

### 3 体の方向用語 (図3)

- ・矢状面：体を前後に貫く方向を含み，体を左右に分ける面。
- ・前頭面：体を前側（復側）と後側（背側）に分ける面。
- ・水平面：直立して地面に平行な面。

図3に名称を書き入れてみましょう。

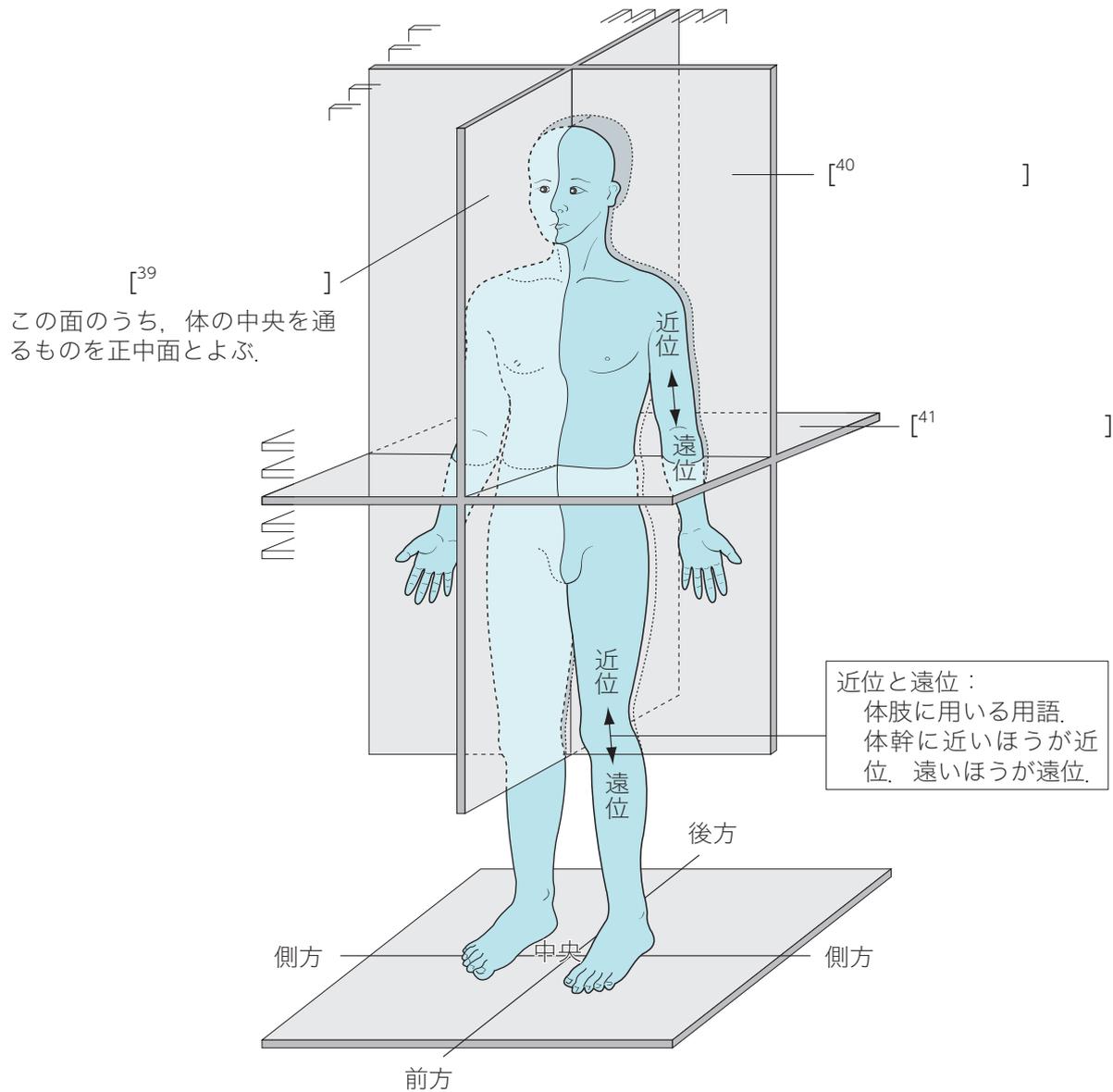


図3 体の方向用語  
 (「解剖学・組織発生学・生理学」p.7)

# 8 前歯

## 1 切歯の形態学的特徴 (図47~50)

- ・ 歯冠の外形はくさび型で舌側面がくぼんでいる<sup>[1]</sup> ]状となる。
- ・ 唇側面, 舌側面, 近心面, 遠心面の4つの面をもつ。
- ・ 各面の限界は縁とよび, 唇側面では近心縁, 遠心縁, 切縁, 歯頸縁に区分される。
- ・ 唇側面から見るとミュールライターの三徴候が顕著である。
- ・ 歯根は単根で近遠心的に圧平された円錐形で, 近心面が膨らんでいることが多い。

### 1) 上顎切歯

	上顎中切歯	上顎側切歯
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 切歯の基本形</li> <li>・ 隆線・溝が明瞭</li> <li>・ 明瞭な隅角徴</li> <li>・ 3つの切縁結節</li> <li>・ 基底結節 (舌側面歯頸隆線) が発達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上顎中切歯の補助的役割</li> <li>・ 退化傾向 (円筒歯・円錐歯・矮小歯)</li> <li>・ 盲孔 (図51)</li> <li>・ 斜切痕</li> </ul>



絵をなぞってみましょう

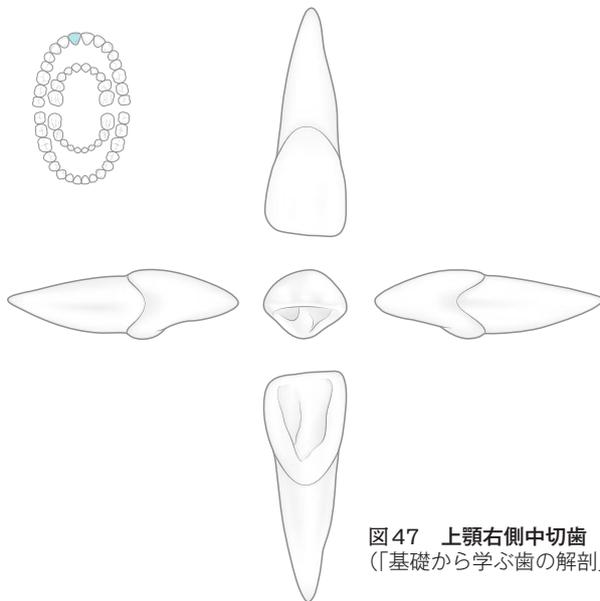


図47 上顎右側中切歯  
〔基礎から学ぶ歯の解剖〕p.34)

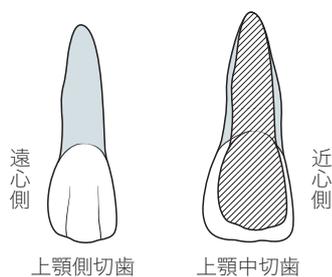


図50 上顎右側側切歯唇側面〔右側は中切歯との比較〕  
〔基礎から学ぶ歯の解剖〕p.36)

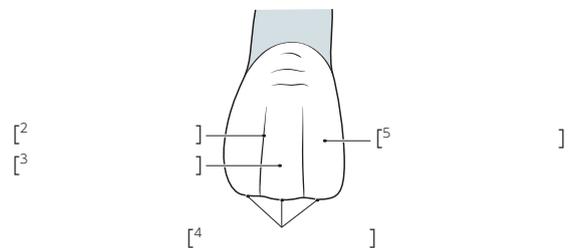


図48 切歯唇側面の浮彫像(上顎右側中切歯)  
〔基礎から学ぶ歯の解剖〕p.30)

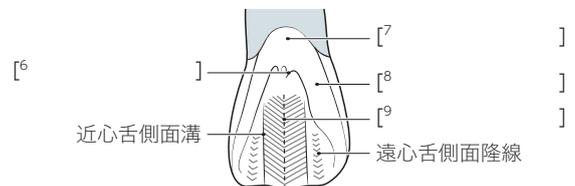


図49 切歯舌側面の浮彫像(上顎右側中切歯)  
〔基礎から学ぶ歯の解剖〕p.31)

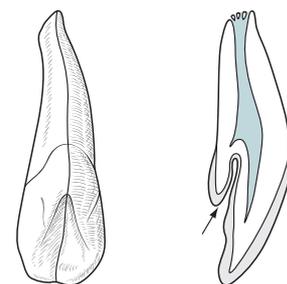


図51 盲孔  
〔基礎から学ぶ歯の解剖〕p.37)

# 6 歯槽骨

## 1 歯槽骨の概要と機能

- ・ [1] ] : 歯根をおさめている顎骨のくぼみ.
- ・ 歯槽が存在する突出した馬蹄形の部分の名称.  
 { 上顎骨では [2] ]  
 { 下顎骨では [3] ]
- ・ [4] ] (図20-a) : 隣り合う歯槽の間の骨質.
- ・ [5] ] (図20-b) : 多根歯で各根を隔てる骨質.

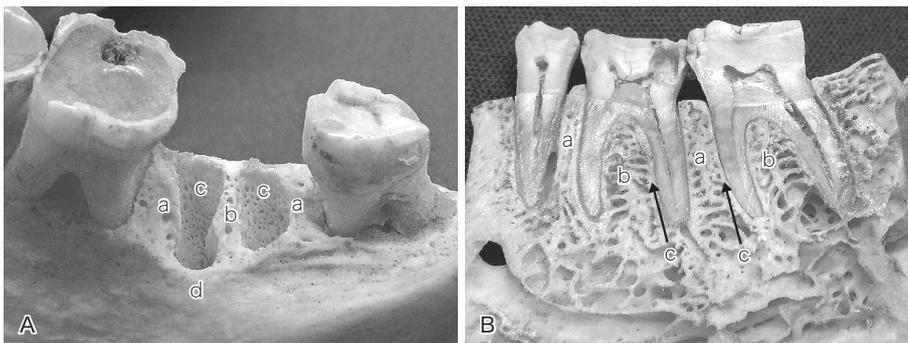


図20 下顎の歯槽  
 (『口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学』p.161)  
 c: 固有歯槽骨, d: 支持歯槽骨(緻密骨)

- ・ 歯槽縁 : 歯槽壁の自由縁
- ・ [6] ] (図21-①) : 歯槽壁の内壁を構成する部分.
- ・ [7] ] (図21-②) : 固有歯槽骨を外側から囲む部分.
- ・ 歯槽骨はその周囲が [8] ] (皮質骨) で覆われ, その内部は骨髄をもつ [9] ] で満たされている (図21).
- ・ 歯槽壁面は乳歯あるいは未完成歯では [10] ] だが, 完成歯では厚く強固となり, 緻密な形状をとる.
- ・ 歯槽骨では骨のリモデリングが起きている.
- ・ 海綿質においては, 骨梁が圧に対して歯や顎を支持する構造で配列している. しかし, 対合歯を失い, 機能の減弱した歯の歯槽骨では骨梁の分布が [11] ] になり, 走向も [12] ] になっている.
- ・ 歯をなくした歯槽壁は [13] ] される.

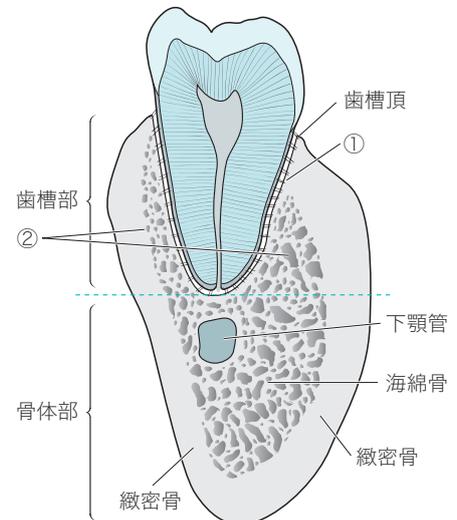


図21 下顎骨の断面(模式図) (『口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学』p. 162)

# 8 末梢神経系に作用する薬物

## 1 末梢神経系とは

- ・自律神経の生理的機能は、交感神経と副交感神経によって [1] ] に支配されている。
- ・交感神経、副交感神経ともに神経節における神経伝達物質：[2] ]
- ・節後線維と効果器における神経伝達物質：交感神経→[3] ]，副交感神経→[4] ]
- ・運動神経から放出される神経伝達物質：[5] ]

◎自律神経系と体性神経系の神経伝達物質 (図7)

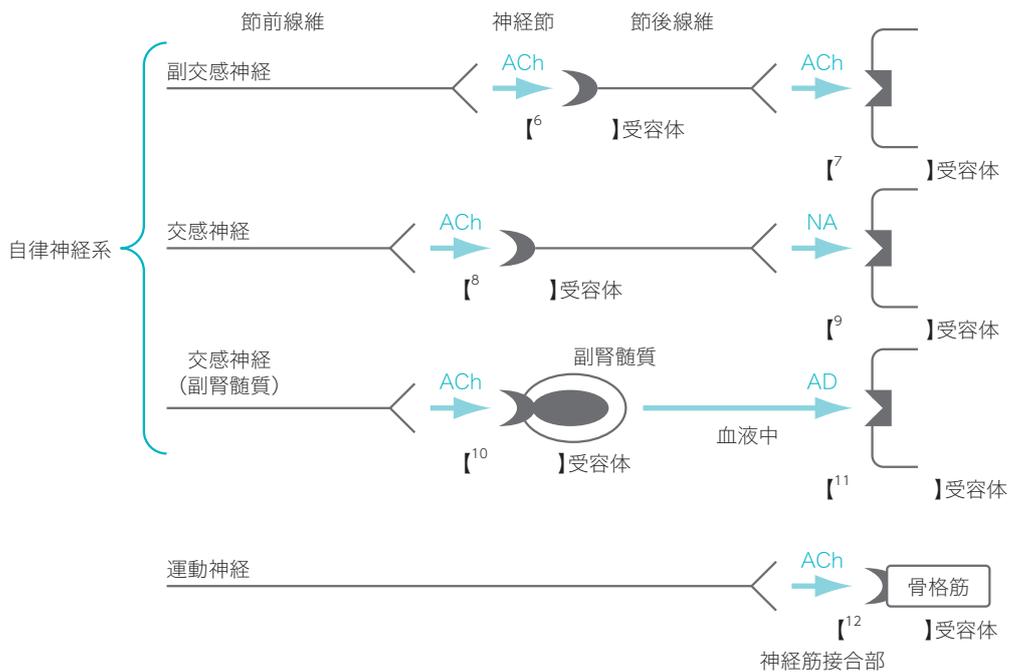


図7 自律神経系と体性神経系の神経伝達物質 (『薬理学』p.74)  
 ACh：アセチルコリン、  
 NA：ノルアドレナリン、  
 AD：アドレナリン